

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域自主防災体制強化事業
事業実施前の状況	自主防災会の財源の関係で、災害時の避難場所用の備品(仕切り板)がなかった。
事業実施後の状況	パーテーション及びブルーシートを購入、自主防災会の備品倉庫に保管している。
事業の効果	防災体制の強化に繋がった。
今後の課題	自主防災会の資機材については、継続して必要なものを検討する必要がある。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	公園施設改修事業
事業実施前の状況	神田東公園が雨水の影響でデコボコ状態になっており、ゲートボール等に支障がでている。
事業実施後の状況	神田東公園の排水を整備、整地した。
事業の効果	ゲートボールなどの地域交流行事がスムーズにできるようになった。
今後の課題	整地等は定期的にチェックする必要がある。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	街路灯強化事業
事業実施前の状況	街路灯不足・照度不足が多く指摘されていた。 (放火事件発生を受けた自主防災会・消防団による夜間パトロールで指摘)
事業実施後の状況	20年度に町会・自治会から要望のあったものを中心に、 街路灯新設・照度アップを実施、校区内の夜間が明るくなった。 26年度は4か所新設した。
事業の効果	校区内の夜間が明るくなったことにより、放火等への牽制効果 が出ていると思われる。
今後の課題	町会・自治会組織の無い地域の街路灯強化が必要。 継続して街路灯設置要望を受け付けるようPRも必要。 農地隣接の場所等に設置する場合は、高さ・向き等の調整が必要。 私有地に設置の場合地主の承諾書が必要となったが、地主をどのように 調査するか検討が必要。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域行事等備品整備事業
事業実施前の状況	神田小学校校庭で実施する運動会・盆踊り等の音響について、 周辺住民からの苦情がでてきた。
事業実施後の状況	スピーカー、マイク等音響設備を購入設置。
事業の効果	地域行事での音響苦情がなくなった。
今後の課題	音響設備の保管機器の購入を継続検討する必要がある。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域コミュニティ等 (広報紙)発行事業
事業実施前の状況	事務費予算の範囲内で年1回発行。(白黒印刷)
事業実施後の状況	カラー刷りの広報紙を、年3回地域内全戸配布できた。 (22年度以降継続)
事業の効果	各種地域内団体の活動紹介をとりあげることができ、回数もふえたので 地域への活動内容のPRができた。
今後の課題	新規協議会メンバー・安全パトロールボランティアを継続して広報紙で 募集を続けることが必要。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	PTAによる登校時の見守り活動は通学路を中心に実施されていたが、下校時を含め校区全体の安全パトロール体制がなかった。 H20年度からパトロールを開始することになった。
事業実施後の状況	電動自転車による安全パトロール体制ができ、ボランティアを中心に下校時の校区内安全パトロールが実施された。(平成21年1月以降) 平成25年度につづき、継続実施できた。
事業の効果	安全パトロールによる直接の目につく効果はないが、地域住民に少しずつパトロール実施が認識されてきて、防犯意識の向上に役立っている。 また、PRのためパトロール中の肩掛け櫛も新設し効果をあげている。
今後の課題	ボランティア人員の確保・増員が必要。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	神田小学校区盆踊り大会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、出店等の収益で予算不足をカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。 26年度は二日間とも雨天で盆踊りが実施できなかったが、照明設備等の準備にかかった経費に対する支援ができた。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	支援 キッズランド(用備品購入)事業
事業実施前の状況	キッズランドのパソコン教室用備品が不足し、十分な活動ができなかった。
事業実施後の状況	パソコン教室として必要なトナー、用紙類を支援することにした。
事業の効果	パソコン教室事業の充実及び参加者の増加が図れた。。
今後の課題	毎年、備品購入必要金額の検証が必要。

平成27年5月27日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 神田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 古澤 文雄



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	神田小学校区住民運動会が、地域の寄付・市からの定額支援で実施されており、予算不足を盆踊り収益等でカバーしていた。
事業実施後の状況	市からの定額支援より多くの金額の支援ができた。
事業の効果	地域行事の活性化が図れた。
今後の課題	毎年、助成必要金額の検証が必要。